

気づき、考え、実行する。

いしかわ青少年赤十字ニュース



園児、
小・中学生号



2020年3月発行
日本赤十字社石川県支部
TEL:076-239-3880
赤十字 いしかわ 検索

みんな下きれいな海岸をまもろう

白山市立湊小学校



2019年9月27日(金)と10月11日(金)、小舞子海岸の清掃活動を行いました。

地域のために自分たちができることの一步です。白山市社会福祉協議会と地域のボランティアの方々にもご協力いただき、たくさんのゴミを集めることができました。

活動を終えた後、児童たちは「こんなにゴミが落ちているとは思わなかった。」「きれいな海岸を守りたいね。」と話し、地域への愛着と自然を守ろうとする意識を高める活動となりました。



海外たすけあいプロジェクト



2019年12月15日(日)、「海外たすけあいプロジェクト」が行われ、小学生と高校生、赤十字ボランティアの計49名が参加しました。セミナーでは、世界で苦しむ子どもたちのことや赤十字の活動を学び、午後からの「海外たすけあい」募金では、5か所で合わせて152,299円が集まりました。



メンバーの声

街頭に立って募金を呼びかけるのは、初めての経験でした。思った以上にたくさんの方が募金してくれて、びっくりしたし、うれしかったです。集まったお金が、世界の人たちの役に立てることを願っています。

野々市市立御園小学校 6年 新江 天海

地域ボランティアと炊き出し訓練

小松市立国府中学校



2019年11月22日(金)に本校1年生を対象に、日本赤十字社石川県支部のご協力を得て炊き出し訓練を行いました。訓練では、袋に詰めたお米がこんなにもふっくら炊きあがるのだと、生徒たちは目を丸くしながらも自分たちでお米が炊けたことを喜んでいました。

寒い体育館で温かいご飯を食べたことは、生徒たちが被災地の方々の苦勞と、炊き出しのありがたさを実感できるとてもいい機会となりました。



災害のとき、食べたいものは?

— 中学校で食育講演 —

七尾市立七尾東部中学校

2019年11月9日(土)、広島県健康・栄養赤十字ボランティアの中下涼さんが講演し、全校生徒426人が参加しました。

中下さんには、西日本豪雨や台風19号などの災害にあった被災地に出向き、炊き出しボランティアを通して見た被災者や現地の様子を、実際の写真や体験談を交えて紹介していただきました。

中下さんの被災者の方々の想いボランティアに携わった講演に、生徒たちは真剣に聞き入っていました。



リーダーシップ・トレーニング・センター

2019年7月27日(土)~29日(月)、羽咋市の国立能登青少年の家で「JRCリーダーシップ・トレーニング・センター」が行われ、県内の小中高生41名が参加しました。参加者は、ダンボールを使って避難所を過ごしやすくするワークやフィールドワーク、赤十字についてのさまざまな学習をとおり、リーダーに必要な「気づき、考え、実行する」力を身につけました。



ダンボールを使って避難所を過ごしやすく



「暗闇体験」みんなで協力して進みます

今年のトレセンは
2020年
7月25日(土)~27日(日)です!

みなさんの参加を
お待ちしております!!

